



# 四国八十八景プロジェクト

## 【応募要項】

第2期応募期間 平成29年4月1日～4月31日まで

ご応募  
ありがとうございます！  
ございました！

### 応募方法

四国八十八景ホームページ(<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/88-kei/index.html>)の応募様式(Excelファイル)をダウンロードし、必要事項を記入、写真画像を添付のうえ、以下メールアドレスに応募してください。応募はメールによる応募に限ります。



メール  
アドレス

[skr-s882020@mlit.go.jp](mailto:skr-s882020@mlit.go.jp)

※1)応募データは変換せずにExcelファイルで提出してください  
※2)添付写真はjpg形式とし、1枚あたり2メガ以内程度まで  
※3)1回のメール送信容量は10メガ以内程度まで

### 応募資格 「眺める場所」の管理者等による応募を原則とします。

※管理者等とは風景そのものの管理者や地区観光団体などの関係者を含みます。  
※「眺める場所」の管理者等以外からの応募も受け付けますが、事務局による管理者への応募意思を確認することとしています。

### 応募対象 「四国らしい風景」とそれを「眺める場所」のセットでの応募に限ります。

※「四国らしい風景」のみの応募は失格となります。※「四国らしい風景」とそれを「眺める場所」は、四国地方に限ります。

#### 「四国らしい風景」の要件

常時でなく、季節的又は一時的な風景でも可とします。  
また自然だけでなく街並みや人工物(橋など)及び  
文化も風景対象とします。

#### 「眺める場所」の要件

- 誰でも利用することができる(有料含む)
  - 「眺める場所」は移動体(列車、ロープウェイ、観光船等)も含みます
- ※次の場合は選定の対象となりませんのでご注意ください。  
■利用する人が制限されている場所  
■法令違反等の施設がある場所又は公序良俗に反するもの

### 選定結果 平成29年度に選定を行い、選定された場所については応募者に通知するとともにホームページに掲載します。

#### 【応募規約】(応募した時点で応募規約を承諾したものとみなします)

- 提出された応募写真等は、「四国八十八景」の広報・プロモートにおいて無償で使用する権利を許諾したものとみなします。
- 第三者の著作権その他の権利を侵害しているもの、または侵害するおそれのある応募写真等の提出は出来ません。
- 応募写真に特定できる人物が入る場合はその人物の承諾を得ていることを条件とします。第三者の肖像権及び著作権等の侵害について実行委員会は、一切の責任を負わないものとし、万一、第三者と紛争等が生じた場合は、全て応募者の責任とします。
- 建築基準法違反や無届け施設など「眺める場所」における法令違反等の事実が判明した場合は非選定とします。
- 応募規約に違反した場合は、選定後でも取り消す場合があります。
- 応募書類(写真データ含む)は返却しません。
- 応募においてネットワークの不具合、コンピュータウイルスなどによる応募者の損害や、応募に起因する応募者及び関係者に生じる損害等について実行委員会は、一切の責任を負わないものとし、

#### 【その他】

- 応募要件ではありませんが、下記についても選定審査の対象となります。
- 良い眺めをゆっくりと快適に楽しめるよう工夫(整備)されている  
(例:ベンチ設置や駐車場整備、遊歩道整備、眺めを阻害する立木伐採など)
  - 「四国らしい風景」を保存する取り組みやその風景を活かしたまちづくり

#### 【個人情報の取り扱い】

当応募で得た個人情報は「四国八十八景」の選定にのみ使用し、適切な取り扱いを行います。

お問い合わせ  
四国八十八景実行委員会事務局

四国地方整備局企画部広域計画課/TEL087-811-8309  
四国運輸局観光部観光企画課/TEL087-835-6357

主催/四国八十八景実行委員会



# We Love SHIKOKU!

あなたの好きな四国を盛り上げよう!



## 四国八十八景プロジェクト

第2期 応募期間

平成  
29年

4月1日～4月31日  
まで

### 「四国らしい風景」と「眺める場所」をセットで募集中!

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、四国を訪れる観光客の増加を図るため、四国らしさの感じられる素晴らしい景観を「四国八十八景」として選定し、その魅力を広くプロモートするプロジェクトです。

厳選 22 箇所  
第1期 選定箇所決定!  
四国八十八景 検索



#### 四国八十八景シンボルマーク

四国八十八景の「景色」と「眺める場所」をシンボルに図案化した。  
「88」という数字の表記を斜めにするこて、眺める人も感じとれるマークとしました。

#### お問い合わせ 四国八十八景実行委員会事務局

四国地方整備局企画部広域計画課/TEL087-811-8309  
四国運輸局観光部観光企画課/TEL087-835-6357

主催/四国八十八景実行委員会

四国経済連合会、四国フィルム制作機構、四国運輸局、四国地方整備局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、全日本空輸(株)、日本航空(株)、四国旅客鉄道(株)、西日本高速鉄道(株)、西日本四国連絡高速道路(株)、(株)JTBC四国、楽天(株)、日本旅協会(NHK)、山陽放送(株)、四国でも88箇所を推薦協議会

### 1 自然の造形美 阿波の土柱



**眺める場所**  
阿波の土柱展望台

**選定箇所の魅力**  
10数メートルに及ぶ土柱が何本も立ち並び、なぜこの様なものが出来たのが自然の力の不思議さを感じ入る奇観となっています。上から覗き込む眺めやライトアップも見応えがあります。展望スペースには足元を照らす連続照明が低い位置に据えられ、訪れる方への配慮が伺えます。

### 2 西日本第二の高峰剣山からの大パノラマ



**眺める場所**  
剣山山頂

**選定箇所の魅力**  
山頂に広々とした草地が広がり、そこから60°見渡せる四国の山並みは、雄大で素晴らしい風景です。山頂近くまでエレベーターがあり、比較的容易に登ることができ、広い山頂には歩きやすい木道とベンチが整備され、景色をゆっくり楽しめるしつらえとなっています。

## 四国八十八景 第1期選定箇所



選定箇所の詳しい情報は四国八十八景ホームページをご覧ください。

### 12 四方指からぐるっと見渡す瀬戸内海



**眺める場所**  
四方指展望台

**選定箇所の魅力**  
「四方を指しても回るものがない」のいわれの通り、小豆島の全島はもとより瀬戸内海を一望できる大パノラマです。展望台は自然石を石壁のような雰囲気に配して構内も高げず、眺めを保つ工夫がされた高い見つけらえになっています。

### 13 聖通寺山山頂からの瀬戸内海と瀬戸大橋



**眺める場所**  
カフェレストラン「ローチェ」

**選定箇所の魅力**  
四国屈指の臨海工業地帯と瀬戸内海に高まって伸びる瀬戸大橋や美しい夜景を眺めることができます。レストランは床から天井までガラス張りになっており、振り出すように造られたスペースには外向かってカウンター高が並べられ、食事と景色の両方を楽しむための空間に仕上がっています。

### 3 船上から満喫する大歩危峡の深谷美



**眺める場所**  
大歩危峡観光遊覧船

**選定箇所の魅力**  
四国の大地が海洋プレート移動によって形成されたことが分かる曲曲構造の地形を吉野川の川面から見る迫力ある風景です。隣近に迫ってくる断崖、奇岩を船頭さんの丁寧な解説を聞きながらに観ることが出来ます。遊んだ吉野川の水の美しさに惚れられるのも魅力の一つです。

### 4 日本の秘境 奥相谷二重かずら橋



**眺める場所**  
奥相谷二重かずら橋

**選定箇所の魅力**  
木漏れ日を受ける、透明度の高い深谷、そこに架かる二重かずら橋の様子は、秘境感たっぷりです。スリル満点のかずら橋を渡りながら、あるいは青石の散らばる川に降りて美しい深谷美を楽しめます。人力の「野原」で対岸に渡ることもでき、魅力満点です。

### 5 西日本最長ロープウェイからの和歌山まで望める雄大な眺め



**眺める場所**  
太能寺ロープウェイ

**選定箇所の魅力**  
西日本一規模を誇るロープウェイで移動しながら、那賀川や剣山山系、遠くは紀伊水道の眺めを順次楽しむことができます。東務員による面白い風景解説もあり、ゆったりと空中散歩を満喫できます。

### 14 船上から楽しむ来島海峡急流



**眺める場所**  
来島海峡急流観潮船

**選定箇所の魅力**  
来島海峡の急流に加えて来島海峡大橋を間近に見上げ、産業景観としての造船所も望むことができます。多彩で迫力のある景観を楽しめます。橋の工法など詳しいドット解説もあり、潮流の身を任せて時には潮を浴びる天然アドラクションは記憶に残る体験となります。

### 15 亀老山山頂から望む来島海峡



**眺める場所**  
亀老山展望公園

**選定箇所の魅力**  
展望台からは瀬戸内海に浮かぶ島々が来島海峡大橋とともに広がります。展望台へは迷路のようなアプローチを楽しめる構造になっているほか、眺望を妨げない工夫がされており、360°の大パノラマを楽しむことができます。

### 16 耕して天に至る 遊子水荷浦段畑



**眺める場所**  
遊子水荷浦段畑(段畑内道路)

**選定箇所の魅力**  
「耕して天に至る」と言われる段畑まで続く石垣造りの段畑は圧巻で、宇和海の美しさと合わせ四国ならではの風景です。先人の知恵と努力の賜物である急傾斜の段畑の眺めと遊を歩くことができます。「ただん茶屋」では訪れる方も楽しんでいただけます。

### 6 特別名勝「栗林公園」



**眺める場所**  
栗林公園(狗月亭)

**選定箇所の魅力**  
借景を含めた7haの広大な敷地に、池や旗山が絶妙に配置された日本を代表する大名庭園です。園路を進むにつれ様々な眺めが次々と展開し、回遊式庭園の醍醐味を堪能できます。狗月亭では、お抹茶やお菓子とともに南湖一帯の眺めをゆっくりと楽しむことができます。

### 7 瀬戸内海と屋島、高松市街を一望



**眺める場所**  
花畑海(ガラス)

**選定箇所の魅力**  
瀬戸内海の島々と屋島、そして高松の街並みをセトで美しく見られる風景です。テラスの欄は景観を邪魔しない工夫がされており、椅子に座りながらゆっくり眺めを楽しむことができます。

### 8 雄大な瀬戸大橋を絵画のように観賞



**眺める場所**  
東山麓(せとうち美術館(カフェ))

**選定箇所の魅力**  
瀬戸内海の島々と瀬戸大橋が一枚の絵画のように眺められます。座ってゆっくりと景色を楽しむためのカフェが設けられており、全面ガラスを採用するなど、眺めの価値を損なわない工夫が随所になされ、落ち着いた雰囲気や質の高い空間を演出しています。

### 17 東洋のマチュピチュ「マイントピア別子\_東平地区」



**眺める場所**  
マイントピア別子(東平地区)

**選定箇所の魅力**  
昭和の初めまで日本を支えた産業遺産からは、歴史や人の営みを感じることができます。マイントピア別子から1分以内の観光バスが運行されており、東洋のマチュピチュと言われる産業遺産群を分かりやすく便利に巡ることができます。

### 18 天空の遊び場「四国カルスト」



**眺める場所**  
県道四国カルスト公園観音線

**選定箇所の魅力**  
カルスト地形としては日本で最も標高が高く、海抜約2000mに達する豪偉な景観に、牧草地に石垣岩が露出した牧歌的風景が広がっています。尾根沿いに道路が整備され、自動車やバイク、あるいは徒歩で移動しながら広々とした景観を楽しむことができます。同様に宿泊施設があり、星空や雲海を楽しむことができます。

### 19 季節風から暮らしをまもる石垣の里 外泊



**眺める場所**  
外泊 石垣の里(地区内道路)

**選定箇所の魅力**  
台風や季節風から家や暮らしを守るため、石垣を積み重ねた独特の集落景観が作り出されています。集落を縫うような石垣道を歩きながら、石垣文化を体験するとともに、「だんだん」では訪れる方も楽しんでいただけます。

### 9 まるでヨーロッパの古城のような豊後池堰堤



**眺める場所**  
豊後池遊水公園

**選定箇所の魅力**  
昭和4年に竣工した日本最古で唯一の5連マルチアーチ式ダムは、連続するアーチ構造の美しさと石積みの厚壁さ、少雨に苦耐してきた讃岐の歴史が感じられる迫力ある景観です。堰堤の前面に芝生広場が整備され、ダム周辺からアーチ構造を見上げられるなど、様々な眺めを楽しむ配慮がされています。

### 10 紫雲山山頂からの瀬戸内海の高島美



**眺める場所**  
紫雲山山頂(遊歩道休憩コーナー)

**選定箇所の魅力**  
荘内半島にそびえる山頂からは、瀬戸内海の島々が織りなす四国らしい風景を一望でき、春は桜の名所として大変賑わいます。紫雲山遊歩道内にある喫茶コーナーは大きな窓と海に向かって開かれたカウンターになっており、お茶を飲みながらゆっくりと風景を楽しむことができます。

### 11 天使の散歩道 エンジェルロード



**眺める場所**  
エンジェルロード(エンジェルカフェ)

**選定箇所の魅力**  
潮が引くと海に隔てられていた余島との間に砂の道(エンジェルロード)が現れ、左右に広がる緑やかな瀬戸内海のロマンチックな雰囲気を感じながら歩いて渡ることができます。また、季節限定でカフェが設けられ、座ってゆっくり眺めを楽しむ工夫もなされています。

### 20 宿毛湾のだるま夕日と咸陽島



**眺める場所**  
宿毛リゾート椰子の浦

**選定箇所の魅力**  
「だるま夕日」は冷え込みの厳しい冬の日の夕方に、水平線まで濡れ渡った海に沈む夕日がダルマのように歪んで見える極めて珍しい自然現象です。窓を開けてベランダに出ると、目の前に群青の海が広がります。レストランや露天風呂からの眺めも最高です。

### 21 四万十川河畔から眺めるヤナギ林と一面の菜の花



**眺める場所**  
四万十川(入田ヤナギ林)

**選定箇所の魅力**  
菜の花畑は日本のあちこちで見ることが出来ますが、四万十川沿い約2kmに渡ってヤナギの新緑と菜の花の美しいコントラストが続く様は、他では見られない景観です。林の中を散策し、「菜の花まつり」のイベントも楽しめます。

### 22 モネの庭 3つの庭の風景



**眺める場所**  
「モネの庭」マルモッタン

**選定箇所の魅力**  
自然をこよなく愛した画家モネが描いた風景を眺められる日本でここだけの風景です。丁寧に手入れされた庭園を堪能できるようにベンチや解説板の配置にも配慮がみられ、心地の良い空間を創り出しています。